

令和7年2月6日会議概要

第1 日時

令和7年2月6日（木）午前9時20分から午後0時10分までの間

第2 出席者

在田委員長、池坊委員、森委員、森田委員、増田委員

警察本部長、総務部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、警備部長、サイバー対策本部長、京都市警察部長、情報通信部長等

《書記 公安委員会補佐室長、公安委員会補佐室室長補佐》

第3 議事の概要

1 委員報告

(1) 城陽警察署視察（1月30日）

委員から、「業務を行うにあたり、非常に効率的な警察署であると感じた。」「警察署では特に、動線をシンプルにすることが不注意によるミスを予防したり、リスクの芽を摘むことにつながっていると感じた。」「署員の方が働きやすく、動きやすく、警察の機能を十分発揮できるようなシステムになりつつあるので、今後の警察署の建て替え時にも非常に参考となると思う。これを生かして更に京都の守りのため、力を出せるような警察署にしていって欲しい。」旨、報告があった。

(2) 航空隊視察（1月30日）

委員から、「限られた時間の中でピンポイントで必要なところに行き、必要な業務を行うということで、日頃の訓練がいかに大切で重要であることを認識することができた。災害発生時等の有事の際に迅速に対応できる様に引き続き訓練をよろしく願います。」旨、報告があった。

(3) 永年勤続者表彰式（1月31日）

委員から、「これまでのご労苦に報いる大変良い機会であるが、先を見据えて一層頑張っ
て欲しい。」旨、報告があった。

(4) ハラスメント研修会（2月4日）

委員から、「大変有意義な研修であり、勉強させていただいた。今後も職員が能力を十分に発揮できる良好な職場環境づくりに努めていただきたい。」旨、報告があった。

2 議題

(1) 警察活動支援システムの運用開始について

総務部長から、タブレット端末を利用して、映像、音声等の情報を秘匿性の高い閉域の専用回線によりリアルタイムに通信する、警察活動支援システムの運用について報告があった。運用例として、捜査手法の一つである引き当たり場所が遠隔地の場合、現場から送信される映像を元に被疑者が取調べ室で犯行場所等を案内するリモート引き当たりでの利用や、警備実施や雑踏警備等に係る実査において、現場から送信される映像を会議室等に設置した大型ディスプレイに投映し、複数人で同時に現場の状況を共有する等の説明があった。また、今後もDXに関し、多くの警察職員に関心をもってもらい、様々なアイデアを吸収し、意見を反映しながら、業務の合理化・効率化・高度化に着眼を置いた取扱をしていきたい旨、説明があった。

委員から、「このような仕組みを使い、新たな警察活動の合理化や高度化を推進していくことは大変心強いことである。セキュリティを万全に取り組んで欲しい。」旨、発言があった。

(2) 職の増設等に関する京都府知事との協議について

警務部長から、令和7年春の組織・職の新設等について説明があり、審議の上、京都府知事との協議を了承した。

(3) 令和7年春の主な組織体制整備について

警務部長から、令和7年春の主な組織体制整備の概要について説明があり、関係規程の一部改正について審議の上、了承した。

(4) 「こども110番のいえ」スタンプラリーの実施について

生活安全部長から、本年2月12日、京都市立新町小学校において、「こども110番のいえ」スタンプラリーを実施する旨、報告があった。「こども110番のいえ」は、子供が何らかの犯罪に遭いそうな際の駆け込み寺的な存在として、平成9年から地域住民の協力を得て行っており、これまでから多くの警察署で、警察官と子供が家庭を訪問して場所の確認を行う等、110番のいえに指定されている方の意識を高める活動を行っていたところ、今回、小学1年生約20名、ロックモンキーズ10名の参加で、子供達が楽しみながらスタンプラリー形式で家庭を訪問し、協力者の家庭にプレートに貼り付ける反射材シールを配布する取組を行うこととした。反射材シールについては、昨年開催した「子供を守るアイデアソン」での提案に基づき、協定締結したジブラルタ生命保険会社の支援により作成したもので、今後は効果や反響を見ながら、より良いものにしていきたい旨、説明があった。

委員から、「このような取組で、改めて110番のいえを認識することにつながるので、取組が広がるように願います。」旨、発言があった。

(5) 令和6年中におけるサイバー犯罪情勢について（暫定値）

サイバー対策本部長から、令和6年中におけるサイバー犯罪情勢について、報告があった。サイバー犯罪等に関する相談は前年比+1,435件で、詐欺・悪質商法や、個人情報の窃取等に加え、不正アクセスに関するものが多く、増加の要因として、警察庁が相談通報促進に向けた取組を強力に推進していることが挙げられる。また、インターネットバンキングに係る不正送金被害については、前年より件数は-4件と減少したものの、被害額は+5,070万円と増加している。被害口座は都市銀行が大部分を占めており、金融機関を狙ったフィッシング詐欺が増加している。サイバー犯罪の検挙について、件数は減少したものの、電子計算機使用詐欺や、ネットワーク利用犯罪のうち、私電磁的記録不正作出・同供用等の検挙件数が増加した。引き続き悪質なサイバー犯罪の検挙に努めていく旨、説明があった。

委員から、「色々な相談にきめ細かく対応していただき、それがまた犯罪の認知につながるようになると思うのでよろしく願います。」旨、発言があった。

3 追加報告

寒波による交通障害について

交通部長から、本年2月4日、5日の寒波による交通障害について報告があり、今後も警備部と連携して、交通状況を確認しながら鋭意対応する旨、説明があった。

委員から、「数年に一度の寒波であり、色々な対応があるかと思うが、よろしく願います。」旨、発言があった。

4 警察本部長総括

警察本部長から、「本年2月3日に、本部長招致検討会に出席した。主要なテーマは『警戒の空白を生じさせないための組織運営』と、『匿名・流動型犯罪グループ対策』であり、私からは京都府警における令和6年度の秋以降の取組について、サイバー対処能力の強化、DX推進室の拡充、警務部に事務管理課を設置し庶務業務を集約する等、3点について報告を行った。全体を通じて、警戒の空白を生じさせないための組織運営に向けた人的リソースの再配分への取組は相当程度進んでいるので、今後は、引き続き不断の見直しをしながら進めつつ、業務の合理化・効率化という点をこれまで以上に重視して組織運営を考えていく必要があるということが各県及び警察庁の共通認識として感じたところである。」旨、発言があった。

5 個別決裁

公安委員会宛て苦情について（受理1件）

公安委員会補佐室室長補佐から、公安委員会宛の苦情等申出に関して、受理1件の報告があり、処理方針を決定した。

6 聴聞等

運転免許関係行政処分について

交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見聴取の結果について説明があり、15件の行政処分を審議した。

7 個別報告

(1) 高度警察情報通信基盤システム（PⅢ）の使用方法について

通信指令課担当補佐から、高度警察情報通信基盤システム（PⅢ）の機能について説明があった。

(2) 令和6年の広聴事案受理状況について

広報応接課担当補佐から、令和6年の広聴事案受理状況について報告があった。

(3) 警察署協議会の活性化について

広報応接課担当補佐から、警察署協議会の活性化について報告があった。

(4) 「交番・駐在所等の機能充実・強化プラン」の改定について

地域部長から、治安情勢及び社会の変化、地域の実態等に応じて交番・駐在所の機能を充実・強化するための「交番・駐在所等の機能充実・強化プラン」改定（案）について報告があった。

(5) 直接聴聞（2月13日実施）に係る行政処分の事前説明について

生活安全企画課担当補佐から、直接聴聞（2月13日実施）に係る行政処分予定について報告があった。